



2026/27年度入園・入学希望者対象 チューリヒ日本語教室 説明会

2026年1月21日



私たちの目指す教室づくり

繰り返し継続していくことで【INPUT】知識として蓄えたことを【OUTPUT】実践的な場面で使うことを学びあおう。

机や黒板の前でドリルの問題を埋めるだけではなく、宿題で漢字を10回、20回と反復するだけではなく、遊びやクイズ、ゲームを通じて「学ぶこと」の楽しさを知るサポートをします。

生徒の年齢・レベルにあった学習を行い、自立学習を促進し学習意欲を高めあおう。

スイスに住む私たちの子どもにとっては、現地学校の勉強もとても大切です。日本語のテキストを駆け足で通り過ぎるのではなく、日本語の四技能である聞く・話す・読む・書く、ことの基盤を固めてゆく手助けをします。

日本語学習、日本の文化を学ぶことを通じて仲間をつくろう。

バイリンガル、マルチリンガルの子どもたちが共有しているいくつかの世界。上級生、下級生の枠を越え、継承語を通してお互いを認め合い分かり合える友達づくりを応援します。

～日本語教室の組織的背景について～

私たちの教室は、保護者によって組織されるチューリヒ日本語教室協会という協会 (Verein) が運営しており、お子さんを教室の授業に通わせたい方は、当協会の会員になっていただく必要があります。

会員の中から選出された運営委員が、日本語教育の資格・資質を持つ厳選された教員と共に、チューリッヒ州教育庁の指針のもと、HSK (Heimatliche Sprache und Kultur 和訳: 継承語と継承文化) 教育を行えるよう環境整備に努めています。教育庁の枠組みの中にあるため、教室の貸与を受け、それによって授業料を低く抑えることができる、義務教育プログラムの一部として認められるなどの恩恵を受けています。2025/26年度は、州内で33言語のHSK授業が行われ、1万人以上の生徒がHSK教育を受けています。



2026/2027年度チューリヒ日本語教室入園案内 幼稚部

募集対象者 2026年8月時点で現地幼稚園に通園し、以下の基準を満たす生徒
(原則2022年7月31日生まれまで)

- ・同居の家族に日本語話者がおり、家庭内で本人が日本語を話す環境であること。
- ・家庭内に宿題などの日本語学習をサポートする者がいること。
- ・入園にあたり、現地校と当教室の学年を統一すること。
- ・生徒の保護者が日本語メールに対応できること。
- ・保護者はチューリヒ日本語教室協会に入会し、協会活動に協力すること。

授業時間 水曜日午後 80分

前・後期制(2026年8月19日～2027年2月10日、2027年3月3日～2027年7月14日)
年40回授業予定、休暇はチューリッヒ市内公立校休暇に準じます。

【参考】2025/2026年度時間割(26/27年度は未定)

時間	クラス	教員・補佐*1
13:50 - 15:10	年中 (KG1) と年長 (KG2) の合同	常時2名
15:35 - 16:55		

*1: 幼稚部生徒人数より変動する事もあります

授業料等

授業料: 前後期二回払い

教材費: 別途徴収。通常、授業料とともに請求

会費: ひと家族につき一口(一保護者が一会員)

毎年の年会費のほか、初年度のみ入会金、年度始めに支払い

【参考】授業料等(26/27年度は未定、変更の可能性あり)

授業料	年間CHF 753.- (前期CHF 357.-、後期CHF 396.-)
教材費	年間CHF 40.-
入会金	CHF 130.- (初年度のみ)
年会費	CHF 100.-

【支払いに関するご注意】

※ 各学期の納入期日までに協会の指定口座へ振込をお願いいたします。

※ 納入された授業料、年会費等は原則として返金されないことをご了承ください。

※ 授業料額、会費額などは全て年次会員総会にて決定されます。年次会員総会の開催時期の関係上、年度途中で料金に変更になる可能性もあります。

幼稚部教室所在地 (25/26年度現在。今後変更の可能性あり)

Hort Winterthurer Winterthurerstrasse 51, 8006 Zürich

入園申請手続き

新規入園申請は、見学説明会当日1月21日20時から受付開始です。

それより前の申請は無効です。

申請の前に、上記『募集対象者』に挙げる入園条件を再度ご確認ください。



以上のことが確認できましたら、下記の期日までにチューリッヒ州教育庁サイトからオンライン申請を行ってください。

募集締切： 2026年3月20日（金）

申込み方法： 日本語教室協会ウェブサイト [入学案内ページ](#) から「Bildungsdirektion Kanton Zürichのオンライン申請利用」をクリックし、移動した先の教育庁のサイトから手続き。



● チューリヒ日本語教室幼稚部 教育理念・授業概要

- ❖ 幼児期の子供達に大切な事は、幼児期にしか体験する事の出来ない五感を通して感じる遊びです。日常を通して感じた事を子供達自身が頭にイメージをめぐらせて創り出し、それを日本語の言葉にして自分を表現することの喜びを知っていく事が大事です。この時期大切なのは「やらされる」ではなく「やってみたい」という気持ちです。保護者と一対一ではなく、集団の中で教員の話を理解し行動をするという体験、また日本にしかない行事を含め色々な遊び「日本の歌、手遊び、伝承遊び、工作、ごっこ遊び」を子供達に体験してもらいます。
- ❖ 日本語を話す教員と一緒に、他の子供達とコミュニケーションの中で日本語の理解力を深めてもらいます。豊富な言語コミュニケーションを体験した子供達は、その後の小中学部での日本語学習がスムーズにいきます。
- ❖ いろいろなテーマに沿って『聞く』『話す』『理解する』『描く』活動を通し、『考える力』『表現力』を育てます。

幼稚部では、目の前の”今”だけでなく、長い目で子供の成長を見守り、継続して日本語習得を目指すことを大切にしています。

ゲームや遊びを通して日本語の文字に出会い、自然と馴染んでいけるような学習を進めていきます。

授業では、絵付きのひらがなカードや歌、ひらがなを使ったゲームなどを取り入れ、楽しく過ごす中で日本語にもっと興味を持ってくれるようになることを目標としています。

※ゲームや遊びにひらがなを組み込んだ内容で進めます。

【授業の主な流れ】

1. 最初の20～30分	<ul style="list-style-type: none"> ●宿題の提出。挨拶、出席、手遊び ●ひらがな導入(ひらがなカードを使ってクイズやゲーム形式でひらがなに慣れていく) ●テーマの導入(例:家族、動物、体、食べ物、色、数等) ●日本の季節や伝統行事、スイスの行事
2. テーマ・行事に沿った遊びや工作20分	<ul style="list-style-type: none"> ●テーマや季節に関する工作 ●体を使った遊び ●集団ゲーム ●ひらがなを使ったゲーム
3. コーナー保育10分	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の好きな遊びを選んで遊ぶ時間 (折り紙、積み木、ねんど、おままごと、車、ぬりえ等)
4. 終わりの20分	<ul style="list-style-type: none"> ●リズム体操 ●絵本読み聞かせ